

仙台ターミナルケアを考える会

第113回「生と死」のセミナー

「がん患者・家族・医療者の
心の回復力(レジリエンシー)」

日時：2009年(平成21年)11月21日(土) 13:30~15:30

講師：仁平義明(にへい よしあき)さん

東北大学大学院文学研究科心理学講座教授、日本学術会議連携会員。

現在、日本学術振興会科学研究費による「発達障害児の心の回復力(レジリエンシー)の形成要因に関する研究」研究代表者。

会場：仙台市シルバーセンター第1研修室

(JR仙台駅又は地下鉄・広瀬通駅下車、徒歩5分)

参加費：500円(当会会員は無料)

講師からのメッセージ:

レジリエンシー(resiliency)は、心の回復力、復元力、柔軟性、弾力性などと訳される概念です。レジリエンシー(あるいはレジリエンス)についての研究は、世界的な心理学や医学文献のデータベースでは、ここ数年間だけでも数千件にのぼります。親による虐待のように強くて長く続くストレスを経験した子どもたちは、普通なら健康な精神発達をするのは難しいと思われるのに、それでもなお苦しみから立ち直って精神的に健康な大人や親になる子どもたちがいる、何がそれを可能にしたか、という疑問が、研究の出発点でした。

現在では、レジリエンシーの研究は、がんの患者さん、ご家族、治療にあたる医療関係者のみなさんの問題にも広がってきています。そうした人たちが強く長いストレスから少しでも心の健康を回復することができるのであれば、その条件は何なのかについて考えてみます。

主催：仙台ターミナルケアを考える会

問合せ先：事務局 TEL・FAX 022-293-3275

(但し、毎週水曜日 13:00~16:00)

